

『てくてく登下校』推進中！

与那原町教育委員会

与那原町では、町内の幼稚園や小中学校において「てくてく登下校」を推進しています。朝のすがすがしい空気をいっぱいに浴びて、友だちと楽しく「てくてく」歩いて登校し、明るく元気な学校生活のスタートにつなげていきましょう！

また、町民の皆さんも、登下校する子供たちを見守るとともに、成人病予防のためにもウォーキング等、運動をするよう心がけましょう。

本県・本町の現状

- 車で登校する子供たちも多く見られます。そのため体が十分に目覚めておらず、朝の活動や授業で元気が感じられない様子が見受けられます。
- 朝、子供たちを送る車が学校周辺の交通渋滞の一因となっています。
- 学校行事の際、保護者の駐車場確保や交通整理で先生方に負担がかかっています

◎ 『てくてくと登校』を行い、1日を元気にスタートしましょう！

◎ 不審者や道路事情等からくる不安感で、やむなく子供たちの送迎をしている実状もあるかと思いますが、安全が確保できる区間においてはできるだけ子供たちを歩かせるようにしましょう！

可能な範囲で「てくてく登下校」を進めていきましょう

★ なぜ「てくてく登下校」を推進するの？

(1) 体と脳が目覚めます。

スポーツを行う時には、持っている力を十分に発揮できるように、体温を高める準備運動を行います。これは、学校生活においても同じことがいえます。

人は、体温が上昇すると元気に活動できるので、「てくてく登校」がウォーミングアップとなって、体温が上がり、脳の活性化につながり、充実した学校生活を送ることができるのです。

朝からあくびをしたり、元気が出ないということは、ウォーミングアップができていないということです。

また、遅寝遅起きの子は遅刻をするので、車で送ってもらうことが多くなり、ウォーミングアップ不足につながり、体温が上がらないままの状態、朝の学校生活を送っているのです



体温が上がる



脳が目覚める（活性化）



学習に集中できる

(2) 運動能力が高められます。

全国体力テストの結果、沖縄の子はシャトルランにおいて、全国平均との差が大きいことが明らかになっています。「粘る体力」が不足していることが課題です。

このことを改善するためには、幼児期から日常生活の中で「歩く」「走る」という運動を繰り返し行い、運動刺激を子供たちに与えていくことが重要になります。

体力の維持向上のため、大人も子供も歩くことを実践していきましょう。



(3) 気持ちの良い「あいさつ」が広がります。



望ましい人間関係を築き、社会性を育む第一歩は『あいさつ』にあります。『てくてく登下校』をすると、友だちに出会ったり、近所の人たちに出会ったりと、必然的にあいさつをかわす場面に多く出会います。

また、歩くことで季節の移り変わりを感じたり、何気ない景色を見ながら「気づく力」が育まれるなど、五感を働かせながら豊かな感性を磨くことができます。

(4) 「危機回避能力」が育まれます。

児童生徒の安全を考えると、大人が安全な環境づくりをすることは大切です。しかし、子供たちの周りにいつでも大人がいるとは限りません。子供たち自身で危険を予知し、回避することができる力を日頃から育むことは、とても重要です。

『てくてくと登下校』は、交通ルールを守り自分の身を自分で守る基本的な生活態度を育み「安全安心な教育環境」を提供してくれます。



(5) 「地域の輪」が形成されます。

「学校へ登下校する道が危ないから送迎をする」という考えも多いと思います。しかし、全ての保護者が車で送迎をしたら、子供たちの安全はますます脅かされてしまいます。

「登下校が危ない」から車を利用するのではなく、危ないからこそ地域の人々が危険な場所へ立ち、子供たちの安全を確保しながら声かけを行うことが必要ではないでしょうか。『てくてく登下校』を実施するためには、地域住民の協力が必要です。子供たちのより良い教育環境のために、行動する人々が増えてくることで「地域の絆」を強くし、地域コミュニティを再構築していくことにつながります。



(6) 地球環境を守ることにつながります。

『てくてく登下校』をして、車での送迎を少なくすることで、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスを減らし与那原町が掲げている「脱炭素」の取組につながります。持続可能な未来のために環境問題対策として私たちができることの一つです。

このように『てくてく登下校』には、多くの利点があります。

より良い教育環境の確保、たくましい体づくり、さらに町民の皆さんの健康づくりのために、町民一丸となって『てくてく登下校』に取り組んでいきましょう！！